

イチおしミニあらかると

ご当地グルメを通じた「日本最大級のまちおこしイベント」である「B-1 グランプリ」は、実は青森県が発祥の地!2012年の第7回B-1グラン プリでは八戸せんべいデ研究所が、2014年の第9回B-1グランプリで は十和田バラ焼きゼミナールがゴールドグランプリを獲得しました!

青森県は、地域によって気候や文化、生活環境が異なることから、地域ごとに特 色ある豊かな食文化が発達してきました。津軽地方は米、南部地方は雑穀、下北地 方はイモなどを主体とした料理が多く作られるほか、沿岸地帯では豊富に水あげ される魚介類や海藻を使った料理が見られます。

主な郷土料理としては、もち米に赤しそやキャベツを入れて発酵させるご飯の つけもの「すしこ」や、大根やにんじん、山菜を細かく刻んでみそやしょう油で味を 付ける「けの汗」、南部せんべいをだし汗で煮る「せんべい汗」、ホタテの買殻を鍋代 わりにして、だし汁にホタテなどを加えてみそや溶き卵で煮込む「貝焼きみそ/み そ貝焼き」などが挙げられます。









青森県の伝統工芸品「津軽塗」は、弘前を中心とした津軽地方に伝わる堅く優美 な外見を持つ塗物です。始まりは江戸時代元禄年間までさかのぼります。

青森県で唯一、国の伝統的工芸品として産業指定されていて、平成29年に本県 初の重要無形文化財として技術指定されました。(漆芸分野での指定は人間国宝を 除くと輪島塗(石川県)に次いで2例目です。)

-プੱ状に加工し、巻き重ねて形を作る工芸品の「ブナコ」 は、美しい立体曲線を自在に表現でき、木材使用量も通常の10分の1程度です。ブ ナコのお盆・茶托・茶器を組み合わせた「Yauatcha Tea Set」はイギリスで賞 ゕヾとヾ を獲得し、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に永久収蔵されています。

南部菱刺しは、江戸時代に、八戸を中心とする南部地方で生み出されました。当 時、農村の女性たちは補強と保温のために麻に木綿糸を刺して、厳しい北国の生活 をしのいできました。この技術が現在まで受け継がれており、麻地以外に木綿地や ウール地も用いられ、ネクタイやタペストリーなど新たな製品にもその技術は応 用されています。



資料:県地域産業課







「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、1万年以上もの間、狩りや 漁、木の実などを採集しながら、ひとつの場所にとどまって生 活(定住)した人々の暮らしやいのり・祭りの様子を伝える文化 遺産で、2021年7月27日に世界遺産となりました。北海 道・青森県・岩手県・秋田県にある17の遺跡で構成され、青森 県には三内丸山遺跡をはじめとした8つの遺跡があります。

縄文時代は今から約1万5千年前に始まり、稲作が伝わる約2千4百年前まで 1万年以上続きました。人々は、縄で模様を付けた土器や石器を使い、木の実や動 物、魚や貝などを食べて暮らしていました。

きたとうほく じょうもん いせきぐん

自然に感謝し、自然と共に生きる縄文時代の暮らしには、現代に生きる私たちが 学ぶべきことがたくさんあります。人類共通の宝として、世界遺産「北海道・北東北 の縄文遺跡群」を私たちの手で守り、未来へ伝えていきましょう!

いさん きた とう ほく じょうもん い せきぐん 世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群



縄文遺跡群のこれから



「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産になったことで、県内の縄文遺跡群の すばらしさが広く国内外に知られ、多くの観光客が訪れることが期待されていま -方で、縄文遺跡群を世界遺産として守り、未来へ伝えていくためには、遺 を設けたりすることが必要です。そこで、青森県が行っている遺跡のすばらしさを 伝える取り組みをいくつか紹介します。

縄文"体感"世界遺産講座

県内の小中学生などを対象に、「縄文"体感" 世界遺産講座」を開催しています。講座では、 縄文時代のくらしや世界遺産について知り、 本物の土器や石器、土偶などに触れることで、 縄文時代の人々のちえや工夫を体感できま す。この講座をきっかけに縄文遺跡群をより 深く学び、そのすばらしさを多くの人に伝え てほしいと願っています。



縄文"体感"世界遺産講座の様子

遺跡で楽しめる体験やイベント

三内丸山遺跡では、1年を通して「土偶作り」や「まが玉作り」などが体験で

きます。また、縄文祭りなどのイベントでは縄 文時代のしごとを体験できる「縄文ハンター」 や、土器や土偶の発掘を体験できる「発掘ひろ ば」なども行われています。

青森県の縄文遺跡群では、遺跡のすばらし さを伝えるさまざまなイベントを企画してい ますので、ぜひ行ってみてください!



こ内丸山縄文夏祭り「発掘ひろば」の様子

青森県の自然・住環境



白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haにおよぶ広大な山岳地帯で、 このうち人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林で占められている約 1万7,000haのエリアが、1993年(平成5年)、日本初の世界遺産(自然遺産)と して、屋久島とともに登録されました。日本国内の自然遺産は、「白神山地」、「屋久 しま しれとこ まがさからしょとう あまみ おおしま とくの しま おきなか およ 島」、「知床」、「小笠原諸島」、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の5件だけ です。

白神山地は都市から遠く離れ、険しい地形で囲まれていることが幸いし、自然の 生態系が守られてきました。そのため、ブナを中心にイヌワシ、ツキノワグマ、ニホ ンカモシカ、アオモリマンテマなど、多種多様な動植物が暮らす牛き物たちの楽園 となっています。





白神山地では、星空が美しく見えます。星空が美しく見えるのは、白神山地の山 並みが都市部の光を遮り、星が見えにくくなる原因となる人工の光が窟きにくい からです。白神山地のある深浦町の星空は、過去に実施された「全国星空継続観察」 で日本一に輝いたこともあります。ぜひ一度ご覧ください。

青森県の自然・住蹟

ピカイチ!青森の木



弘前公園三の丸、緑の相談所中庭にあるソメイヨシノは、幹の周りが5m37cm で、環境省の「巨樹・巨木林データベース」によると単幹のソメイヨシノでは日本一 の太さです!

ひろさき いろさき いろさき はっしょう やりんざら ひろさき 弘前公園は、ソメイヨシノを中心に弘前発祥の八重桜'弘前雪明かり'の原木な ど52品種約2.600本の桜が植えられ、桜の名所として親しまれています。また、弘 前公園のソメイヨシノは、1つの花芽(花を咲かせる芽)から時には7個と多くの花 を咲かせるため、豪華で泊力のある美しい風景が楽しめます。



昭和41年に県の木として指定された青森ヒバは、木曽ヒノキ、秋田スギととも に日本三大美林の一つに数えられ、全国の蓄積量の8割以上が青森県にあります。

シロアリや腐れに強いことから、古くから城や神社仏閣などに使用され、弘前城 天守をはじめ数多くの建造物に用いられていることが知られています。

白神山地に代表されるブナの蓄積量が全国1位、住宅部材に使われるスギ人工 林の面積が全国4位のほか、県南地域に南部アカマツが広く分布するなど、青森県 の名前が示すとおり、多種多様な森が県土面積の66%を占めています。

資料:弘前市、県林政課



環境省の温泉利用状況(令和3年3月末日現在)によると、青 森県は温泉地数が全国第5位、湧出量は全国第4位の温泉の宝 庫!

また、青森県の一般公衆浴場数は281ヶ所(令和3年度)で、 全国第3位!人口10万人当たりでは23.0ヶ所(令和元年度) とダントツの全国第1位!なんと全国平均の8.5倍です。 (※ピカイチデータ100!もご覧ください)

さらに、令和3年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)に よると、青森の「温泉・銭湯入浴料購入金額」(1世帯当たり)が 全国第3位で、青森県民は温泉が大好きなことが分かります。

132



おんりせん 温泉地数 (か所)

1 位 北海道 234 2位 長野県 197 3位 新潟県 144

福島県 吉森県 127 5 位

4位

湧出量 (深/分)

1 位 大分県 298,416 2位 北海道 197.557

174,500 3位 鹿児島県

4位 青森県 147,494

5位 熊本県 132,047

「酸ヶ湯温泉」(青森市)、幻想的なランプの灯りの中で入浴を楽しめる「青荷温泉」 (黒石市)、波打ち際に露天風呂がある絶景の「不老ふ死温泉」(深浦町)、真っ黒なお 湯がめずらしい「東北温泉」(東北町)、2つの系統の温泉を楽しめる「下風呂温泉 海峡の湯」(風間浦村)など県内には個性的な温泉がたくさんあります。

※国民保養温泉地・・・環境省が指定した、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健 全な温泉地として優れている地域のこと。

「森県の自然・住環境



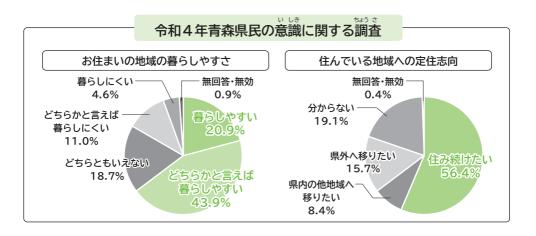
青森県には、皆さんに知ってほしい「暮らしやすさ」がたくさんあります。例えば、 家を建てる土地の値段が全国で2番目に安く、家の広さも全国で4番目に広いの で、都会に比べてのびのびと生活することができます。また、気軽にサッカーや キャッチボールが楽しめるような広い公園もたくさん!ゆったり広々としたス ペースで「密」にならずに暮らせます。ふだんは青森に住んでのびのびと暮らし、 たまに東京に遊びに行くという暮らし方も快適ですね。

データ

- 住宅地が安い(住宅地の平均価格1mあたり) 東京都380.900円 青森県15.900円(※全国2位)(R3年)
- 住宅が広い(専用住宅1人当たりの居住室の畳数) 東京都12.17畳 青森県16.57畳(※全国4位)(H30年)
- ★公園が多い(都市公園等1人あたり面積) 東京都7.4㎡ 青森県18.6㎡(※全国7位)(令和2年度末)

本県の暮らしやすさについて尋ねた「令和4年青森県民の意識に関する調査」に よると、日常生活の中で、「新鮮で安全な食品が買えること」や「豊かな自然やきれ いな水と空気が保たれていること」に満足している県民が多いようです。

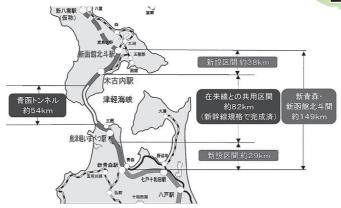
また、この調査では、県民の6割以上が、青森県を「暮らしやすい」と感じており、 将来も青森県に「住み続けたい」と答えています。



資料: 県地域活力振興課、県企画調整課

青森県の交诵





東北新幹線は、2020年12月4日に、全線開業から10周年を迎えました。 2020年10月からは、盛岡~新青森間の最高速度を260km/hから現在国内最 速の320km/hに向上させるための工事が進められています。

さらに、仙台~新青森間では、これを超える360km/hでの営業運転を目標に、次 世代新幹線(ALFA-X)の試験運転が行われています。このほかにも、鉄道には様々 な「ピカイチ」がありますので、いくつか紹介します。

最高速度320km/h!日本一の高速新幹線車両(E5系・H5系)「はやぶさ」



JR東日本の車両E5系「はやぶさ」は、最高速度 320km/hで日本一の高速新幹線車両(E5系・H 5系)です。また、この車両は国内新幹線初となる ファーストクラス座席「グランクラス」が導入され たことでも話題になりました。

延長713.7km!日本一の長い路線!「東京~新青森間」

東北新幹線は、全線開業後、東京~新青森間の営業キロが713.7kmとなり、 在来線も含めた中で日本最長の路線に!これまでの山陰本線(営業キロ 673.8km)に代わり、日本一になりました。

全長26.455km!世界一の複線陸上鉄道トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455kmと、上下線が通る 複線トンネルでは世界一長い陸上鉄道トンネルです。青 森県中央部の八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新 青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めます。



橋脚間隔150m!日本一広い橋脚間隔の新幹線鉄道橋「三内丸山架道橋」



三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ 「三内丸山架道橋」は、橋長450mのエクストラドーズ ド橋。橋桁を支える橋脚と橋脚の間隔は最大で150m もあり、新幹線の鉄道橋で日本一広い間隔です。

全長53.85km!世界第2位の鉄道トンネル「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全 長53.85kmで、鉄道トンネルの中では世界第2位の長さを誇ります。当時の 日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通しました。その技術 は、英仏海峡トンネル(全長50.49㎞)でも活用されています。

また、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆の時期 において、青函トンネル内を走る新幹線の最高速度 を160km/hから210km/hに引き上げて営業運転 がされるなど、北海道新幹線の更なるスピードアッ プに向けた取組が進められています。



イチおしミニあらかると 第3セクター鉄道「青い森鉄道」にもピカイチ!

東北新幹線の開業に伴いJR東日本から経営分離され誕生した「青い森鉄 道」は、現在目時・青森間121.9kmを上下分離方式(※)で運営されており、日 本一長い並行在来線です。

また、青い森鉄道野辺地駅には、日本最古の防雪林があります。

※青い森鉄道では、県が線路や駅舎等の施設(「下」の部分)を、第3セクター鉄道会社が電車(「上」の部 分)を所有し運営する上下分離方式を第3セクター鉄道としては日本で初めて採用しました。

資料:県交通政策課